

# モニタリング結果報告書 (令和2年度)

## 1. 施設概要

施設名	21世紀の森		
所在地	南足柄市内山2870-5		
サイトURL	http://k-mask.jp/21/		
根拠条例	神奈川県立21世紀の森条例		
設置目的(設置時期)	森林及び林業に関する知識の普及及び向上並びに林業の振興を図り、併せて県民の保護及び休養に資する(昭和58年4月設置)		
指定管理者名	株式会社 アグサ		
指定期間	H28.4.1 ~ R3.3.31 (2016年) (2021年)	施設所管課 (事務所)	森林再生課

## 2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p>※新型コロナウイルス感染症が3項目評価(利用状況、利用者満足度、収支状況)に与えた影響及び対応状況も含めて「総合的な評価の理由と今後の対応」を記載。</p> <p>「利用状況」がC評価、「利用者の満足度」がS評価、「収支状況」がS評価となり、3項目評価はBとした。指定管理維持管理業務については、年間を通して円滑な維持管理の運営がなされている。利用者数については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策としての休館等の影響を受け、例年と比較して少なくなった。今後、広報活動への積極的な取組を継続するとともに、適切な感染拡大防止対策を講じながら、利用者数の拡大に努めてほしい。</p>	
<p>&lt;各項目の詳細説明&gt;</p> <p>◆管理運営等の状況 提案に基づいて、施設・設備の維持管理業務を適切に実施した。中でも、集団樹木や林道等の維持管理業務においては、土砂の除去を早期に実施したり、対応可能な範囲の倒木等の処理等を行ったりするなど、利用者の安全確保や施設的美観の確保に努めた。</p> <p>◆利用状況 パンフレットやチラシの配布、その他の媒体による広報など、広報活動にも取り組んできたものの、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、目標達成率は43.5%となり、C評価となった。前年度対比で利用者数は増加した月もあるため、適切な感染拡大防止対策を講じながら、引き続き、広報活動や団体の受入等の更なる充実に取り組んでほしい。 今後の広報活動については、更なる広報媒体の追加の検討や、広報活動を実施する場所を工夫するなどして、利用者の拡大に向けて進めてほしい。</p> <p>◆利用者の満足度 毎月実施しているアンケートでは、上位2段階の回答割合が、98.5%となりS評価となった。</p> <p>◆収支状況 事業計画に沿った運営を行い、指定管理料の範囲内で良好に執行されており、収支比率が106.85%となりS評価となった。</p> <p>◆苦情・要望等 苦情・要望等はなかった。</p> <p>◆事故・不祥事等 事故・不祥事等はなかった。</p> <p>◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査、労働基準監督署からの指導事項はない。</p>	
3項目評価	<p>S:極めて良好 A:良好 B:一部改善が必要 C:抜本的な改善が必要</p> <p>※3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう</p>
B	

### 3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	なし	
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	年15回程度	
随時モニタリングにおける指 導・改善勧告等の有無	有・ <input type="checkbox"/> 無	指導・改善勧告等の内容

### 4. 管理運営等の状況

[ 指定管理業務 ]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
<b>【施設の維持管理】</b> ○清掃・美化 ・整理整頓と清潔さなどの美観を確保する。 ・来場者に快適に利用してもらうために、施設の美観を保つ。 ○樹木の管理・除草 ・季節や環境状況に応じた整備を行う。 ○維持・修繕 ・県民利用や林業研修がしやすいように、散策路や作業道の整備及び維持管理を行う。	・日常点検、清掃及び定期清掃を計画通り実施し、清潔できれいな環境を維持した。  ・草刈り、剪定、枝打ち等を実施した。  ・散策路や作業道の不具合箇所を早期に発見し、土砂の除去や、指定管理者で対応可能な範囲の倒木等の処理等を行った。 ・落ち葉清掃、側溝清掃等を適宜実施した。	月例報告により確認しており、提案のとおり適切に行われている。また、感染拡大防止対策としての休館や自主事業の中止に当たり、施設の維持管理に注力して作業を実施し、例年と比較して整備状況はさらに良好であった。
<b>【安全・管理】</b> ・危険箇所及び破損箇所の抽出を行う。 ・危険生物とその生息環境を除去する。 ・木工工具や機械の手入れを行う。	・管理地内を定期的に見回って、毎月、危険箇所を抽出して適宜、整備した。 ・スズメバチ捕獲用のトラップを設置するなど、危険生物の除去に努めた。 ・木工工具等の備品を定期的に点検した。	月例報告により確認しており、提案のとおり適切に行われている。
<b>【利用促進】</b> ・チラシやパンフレットの作成配布等による広報を実施する。	・パンフレットの配架に加え、様々な媒体に掲載を依頼するなどの広報に努めた。	月例報告により確認しており、提案のとおり適切に行われている。

※指定管理業務に与えた新型コロナウイルス感染症の影響等がある場合、対応状況も含めて、「実施状況等」欄に記載。

[ 参考：自主事業 ]

事業計画の主な内容	実施状況等
森林・自然観察への理解と興味を深めるようなイベントを定期的実施する。	木工体験教室（1回/14人）、自然観察会（2回/30人）、森林文化体験（3回/35人）、未病対策プログラム（1回/9人）を実施した。 感染拡大防止対策として、多くの自主事業を中止した。
森林や県産材への理解を深め、親しみを感じてもらおうオープンイベントを実施する。	「新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた県の基本方針」等に基づき、中止した。
施設までの公共交通機関の利便性が悪いため、利用者に対して必要に応じて送迎を実施する。	イベント開催時に送迎を行い、9人の利用があった。 感染拡大防止対策の一環として、また、自主事業の中止の影響も受け、送迎の回数及び人数を縮小した。

※自主事業に与えた新型コロナウイルス感染症の影響等がある場合、対応状況を含めて、「実施状況等」欄に記載。

## 5. 利用状況

評価	<<評価の目安>> 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）があれば記載してください。
C	

	前々年度	前年度	令和2年度
利用者数※	39,987	41,174	23,824
対前年度比		103.0%	57.9%
目標値	52,400	53,600	54,800
目標達成率	76.3%	76.8%	43.5%

目標値の設定根拠： 事業計画書（提案書）

利用者数の算出方法（対象）： 10時13時15時の駐車台数に、普通乗用車1台に対して4名等、一定の人数をかけて算出

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

### 【新型コロナウイルス感染症が利用状況に与えた影響と対応状況】

（※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載）

#### ①新型コロナウイルス感染症が利用状況に与えた影響

近年において年間の総利用者数の3割強を占める4月の大半と5月を休館としたこと、また、団体の利用については6月以降も適宜制限をしていたことから、全体の利用者数が例年と比較して少なくなった。

#### ②令和2年度の対応状況

6月にはガイドライン等を参考に感染拡大防止対策を実施しながら利用再開した。自主事業や団体の利用は、その後の県全体のイベント等の制限状況に応じて適宜制限を調整して実施してきた。

団体等の利用に当たっては、事前に感染拡大防止対策を踏まえた利用の実施内容について、丁寧に調整等を行うことによって受入れも実施した。

学校等からの相談にも丁寧に対応した結果等を通じて、前年度よりも利用者数が増加した月もあった。

## 6. 利用者の満足度

評価	<<評価の目安>> 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	簡易アンケート：随時 詳細アンケート：年1回	上位2段階の評価は、前年同様高水準を維持しており、適正な運営が行われているものとみられる。

[ サービス内容の総合的評価 ]

質問内容 施設管理に対する満足度について 総合について

実施した調査の配布方法 利用者に配布・施設に配架 回収数/配布数 65 / 289 = 22.5%

配布(サンプル)対象 利用者

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	41	23	1	0	65	
回答率	63.1%	35.4%	1.5%	0.0%		
前年度の回答数	69	24	0	0	93	
前年度回答率	74.2%	25.8%				
回答率の対前年度比	85.0%	137.1%				

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

**【新型コロナウイルス感染症が利用者満足度に与えた影響と対応状況】**  
 (※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)

①新型コロナウイルス感染症が利用者満足度に与えた影響  
 接触機会を減らしたい等の理由から回答数が少なくなりました。

②令和2年度の対応状況  
 回答数が少なくなっているので、対応として事前の配布数を増やした。  
 回答しない利用者が例年よりも多く、強制することもできないので、結果的に回収率は下がりました。

## 7. 収支状況

評価	≪評価の目安≫ 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計/支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
S	

[ 指定管理業務 ]

(単位：千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	28,454	560	0	0	29,014	29,014	0	
	決算	28,454	132	0	0	28,586	27,897	689	102.47%
前年度	当初予算	28,671	600	0	0	29,271	29,271	0	
	決算	28,671	122	0	0	28,793	28,273	520	101.84%
令和2年度	当初予算	28,909	640	0	0	29,549	29,549	0	
	決算	28,949	52	0	0	29,001	27,142	1,859	106.85%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位：千円)

令和2年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

9月補正予算：感染症対策費 110千円（施設内の建物等での感染拡大防止対策に係る物品の購入費用）

### 【新型コロナウイルス感染症が収支状況に与えた影響と対応状況】

(※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)

#### ①新型コロナウイルス感染症が収支状況に与えた影響

—

#### ②令和2年度の対応状況

感染拡大防止対策としての休館や自主事業の中止に当たり、施設の維持管理に注力して作業を実施した。

そうしたことを通じ、維持管理に係る委託規模の見直し等も実施し、経費節減に取り組んだ。

8. 苦情・要望等  該当なし

分野	報告件数	概要	対応状況
施設・設備	件		
	件		
職員対応	件		
	件		
事業内容	件		
	件		
その他	件		
	件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等  該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。